



今回のミニ通信は、震災復興支援員 佐藤からの報告です。

【相双・いわき圏域】

相双圏域を担当しています佐藤ですが、本年1月より3月末までいわき圏域も合わせて担当する事になりました。幅広い支援活動をして参りますので、宜しくお願いいたします。

いわき圏域の数施設は挨拶に訪問しましたが、全施設の訪問はまだしておりませんので、早々に訪問したいと思っております。その時には宜しくお願いいたします。私も担当圏域が広くなりましたが、支援活動はしっかり行っていきたく思いますので、ご指導のほど宜しくお願いいたします。

2月・3月に行った一部の展示販売会の内容を簡単に紹介いたします。

- ① 2月13～14日にいわき市フラワーセンターで開催された「**第4回フラワーフェスティバル**」に、いわき市内の障がい施設が展示販売会に参加しました。利用者さんが元気な声で呼びかけをしていたのが印象的です。私も初めて来園して販売会を見学させて頂きました。当日は風が有りましたが天気も良く、家族連れや多くの市民が来園しておりました。結果の良い販売会になったと思います。主催の責任者の方から年に数回フェスティバルを開催しているので、他圏域の障がい者施設参加も期待していますとのことでしたので、今後出店申請の取りまとめを振興会でいたします。障がい者施設の手づくりの製品を幅広く理解しフェスティバルに来園する方々に見て頂き、販促に繋がるように支援活動をしていきたくと思っております。

- ② 3月6日国見町で開催いたしました「**くにみ春のフードフェスタ展示販売会**」は今回3回目の開催で、遠くは静岡県や県内の多くの道の駅が出店をし、全部で60店舗の出店の中で、福島市内及び県北の施設が参加しました。当日は今までにはない快晴で穏やかな天気にも恵まれ、色んなステージイベントもあり、大勢の来場者がありました。主催の国見町担当者も来年はより一層企画を考えて開催したいという声がありました。多くの施設も参加した方がよいと思います。



- ③ 三菱電機株式会社より東日本大震災の5年目の節目として、「**震災復興支援マルシェ展示販売会**」の企画の話を受けて、3月9日の夕方本社商談ロビーで岩手・宮城・福島の団体の展示販売会に福島県代表として振興会が取りまとめ、県内の17の障がい者施設の施設製品を展示販売しました。また、東日本大震災当時のミニ写真展を福島民友新聞社より震災当時の写真をお借りしパネル展示をしました。本社従業員及びグループ企業の方々約300人が来場して頂きました。障がい者施設の製品を見るのが初めての方も多く、完成度が高く評価して頂いた製品も



有りましたが、私として考えさせられる事も沢山有りました。今後の課題だと思います。今後も多くの会社から貢献事業の中で支援販売の要請もあると思います。その時にはより一層期待に添えた支援活動をしていきたいと思っております。売れた売れないだけでなく、利用者がより良い物を心を込めて作った物を届けるような販売会に常に行っていきたいです。今回もよい勉強をさせて頂きました。